



Ai News Paper

Event & Program

エーアイニュースペーパー
2019年4月号 / vol.3
interviewer : 白戸 健
photographer : Sin Gim

つながる想い 藤崎 3/8~3/11

震災から今年で8年。
3.11を語りつぐ会が主催するメモリアル企画「つながる想い」に出店させていただきました。
コンサート、トークショー、写真家の大沼英樹さんの写真展、気仙沼ニットの販売会など例年以上に様々な想いが結集しました。
多くのお客様と一緒に「あの日」に想いを馳せ、語り合うことのできた貴重な4日間でした。



Music Art 3/9

3月9日 Ai にて Music Art vol.6 が行われました。デジタルアーツ仙台との共同企画で、毎回在学や卒業して活躍されているアーティストの皆さんによるLIVEイベントです。今回はチャリティーイベントという形で開催され、Ai有志のスタッフもオープニングアクトで参加させていただきました。今回、初の試みで Ken's cafe さんによる美味しいコーヒーとワッフルの販売も行われ、心もお腹も満たされるイベントとなり、過去最高の動員数で大盛況となりました。



Music Art のようす



だれでもクリエイター 3/10



マルシェのようす



Ai にてだれでもクリエイターと題して、マルシェを開催しました。今回はハンドメイド作家さんを中心に全27組と、多くのお店が並びました。
アクセサリ小物や消しゴムハンコ、お菓子など多種多様な出店があり、目移りしてしまう空間が完成しました。
また、ギャラリーの一角では、キッズスペースが設けられ、廃材積み木やテントで子供達が遊ぶ姿を Ai で見られたことも新鮮でした。
次回は4月27日に開催予定です。
ぜひお気に入りの雑貨やお菓子を探しにいらしてください！

オモテの作品

Artist : Saiko

活発でお話好き。そして季節の移り変わりを大切にしている Saiko。描かれる四季折々の風物詩やキャラクターはどれも力強く、うったえかけてくる劇画の様。チャーミングな動きのダンスは見る人を楽しませてくれる。

美術館で Ai の展示会をしたい。

Ai ではお互いにフラットな関係を築けるよう、親しみを込めて職員をパートナー、利用者スタッフと呼んでいます。今回は、佐々木桂さんにお話を伺いました。

白戸: Ai では、どんなお仕事をされているんですか？

佐々木: 商品企画、デザインの面からスタッフの皆さんのお仕事をサポートしています。また、2月から新しく出来た、Ai Gallery の運営にも携わっています。

白戸: Ai に来る前は何ををされていたんですか？

佐々木: 東京の現代美術館で働きながら、コンテンポラリージュエリーの作家をしていました。コンテンポラリージュエリーはコンセプト性の強い、アートとしてのジュエリーです。

白戸: 休日は何をしていますか？好きな事を教えてください。

佐々木: 家で Amazon プライム・ビデオ等、配信 TV を観ている事が多いです。年末年始は「クッキングパパ」を観ていました。今は「YG treasure Box」をよく観ています。

白戸: Ai でスタッフとこれからどんなことをしていきたいですか？

佐々木: 長期的な野望は「大きな美術館で Ai の展示会をしたい」です。そのためには Ai を長く続ける必要がありますよね。良い商品を作って売上が伸びる必要もありますよね。そしてスタッフが楽しく働ける環境も作ってほしいです。やることいっぱいですね。



パートナー 佐々木桂さん
学校法人水野学園で彫金、デザインを学ぶ。フリーの作家・デザイナーとしてミュンヘンを中心に活動中。

歌を通して心の解放を。

アートな福祉事業所 Ai ファクトリーの特徴でもある多様なカリキュラム。今回は音楽の時間を担当されている、及川久美子先生にインタビューしました。

白戸: 音楽の時間は何をやる時間ですか？

及川: 担当は音楽のプログラムです。最初に身体をほぐすところから始めて、呼吸の使い方や、心の解放を目指した声の出し方。ただ声を出すだけではなく、心が解放されるような発声の仕方を意識しています。その上で曲を歌ったり、言葉に合わせての運動やダンスをします。言葉を引き出してそこから曲を作るといっています。

白戸: そのねらいはどのような所に？

及川: 気持ちの解放ですね。楽しいって思えることが大事で、嫌なことがあっても声を出すことと歌うことで、前向きになれるようにしています。

白戸: この時間の中であった印象的なエピソードを教えてください。

及川: 楽楽楽文化祭が一番大きいと思います。元々知っているスタッフや、初めて会うスタッフとの距離感をうまく取りつつ、当日に向けて進めていきました。当日に向かうまでの過程、大きなステージに立つ過程で、みんなの変化を感じて、当日みんなが良い表情をしていたので、それが印象的です。

白戸: このカリキュラムで今後どんなことを伝えていきたいですか？

及川: 音楽を通してそれぞれの個性の可能性や楽しさであったり、今後の生き方にみんなが繋がっているんだということを伝えていきたいです。



外部講師 及川久美子先生
音楽教室「みやぎの音楽教室」を主催。子供から大人まで指導。合唱団のピアニストも務める。